

# たにがしらっこだより 11号 R2.9.1

発行者 牛谷まゆみ

県内の感染拡大警報がレベル2に引き下げられました。感染者数はかなり減ってきてはいますが、まだまだ油断はできません。引き続き手洗いうがいの徹底、3密を避けるなどして感染予防を心がけましょう。県外への往来自粛は解除されますが、9月15日までは「感染流行地域」に往来した場合は2週間の自粛をお願いしたいと思います。

## ◎限界に挑戦

先日 NHK の「ちこちゃんに叱られる」を見ていたら、「どうして子どもは縁石やブロックの上をあるきたがるのか」というのがありました。どうしてなのでしょう・・・？解説の先生の話によると、「限界に挑戦して自分を高めるため」とのことでした。つまりこの行動は、子ども達が成長するために必要な課程であるようです。縁石やブロックの上を歩くことは、アフォーダンスという概念と、フロー体験があり、アフォーダンスの概念は、普段行っている動作の手掛かりを与えてくれる環境や特徴の事です。ドアノブがあればねじって開ける、スイッチがあれば押すという行動もアフォーダンスの1つで、過去の経験から対応を導くことを指し、子ども達は少し難しそうな「自分の限界を超えた行動」選びます。フロー体験は、限界に挑戦することで集中力が高まり、通常では出せないような能力が発揮できる事です。簡単すぎる挑戦は「退屈」で、難しすぎる挑戦は「不安」になると言われ、限界ギリギリの挑戦をすることで成長すると言われていています。

こども園の子ども達も毎日色々な遊びに挑戦しています。簡単なものはすぐに飽きてしまいますが、ちょっと難易度をあげると繰り返し挑戦しています。時にはハラハラすることもあります。子ども達の成長にはかかすことができないのだなと感じました。

## ◎食事について

3歳以上児は11時40分くらいから昼食をとります。以前はクラスの子供達が一齐に昼食の準備をして、一齐に「いただきます」と食べ、先に食べ終わったとしてもみんなが終わるまでずっと待っていました。保育の色々な場面で子ども達は「待つ」ということをしていました。今は食事の準備ができると子ども達も状況を察知して、空いているテーブルを見つけて座ります。今はコロナウイルスの関係で配膳は職員が行っていますが、(以前は自分たちで自分の食べられる量を皿に入れていました)必ず子ども達に量を確認しながら配膳しています。「いただきます」「ごちそうさま」もそれぞれの子供もで行っています。

3歳未満児は担当制ですので、担当の職員が1対1、1対2、2歳児は1対3で食べています。配膳の際は3歳以上児と同じく、量を尋ねながら皿に入れていきます。少人数で関わることで、子ども達もじっくりと食べることができます。2歳児の子ども達はほとんどこぼすことなく食べられるようになっています。

またスプーンを使って食べていますが、これは3点持ちがしっかりとできるようになることを目的としています。この3点持ちは、箸の握り方、鉛筆の持ち方に繋がっていきます。